

「龍北中学校の島口・島唄，八月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	龍郷町立龍北中学校
2. 学年・人数	1年生 5人 2年生 2人 3年生 1人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年6月8日 地域交流会 嘉渡生活館 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月11日 島唄学習会 本校多目的ホール 令和6年10月26日 学習発表会 本校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について	(1) 名 称 島口・島唄・八月踊り（しまぐち・しまうた・はちがつおどり） (2) 由 来 奄美大島には，大きな特徴をもつ「シマグチ」「シマユムタ」などと呼ばれる方言と，独特な音階をもつ島唄と集落により異なる八月踊りが，人々の生活の中に残っている。一方で，奄美に残る方言は，2009（平成21）年に，ユネスコにより消滅の危機にあると指摘されている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	島口に込められた先人の想いを地域の高齢者への取材を通して知り，「島口をどのように伝えていくか」というテーマでの議論を通して，島口の良さや課題について改めて生徒に考えさせた。その後，島口を楽しく学ぶために「島口クイズ」を作成し，学習発表会においてその成果を公開した。また，郷土に伝わる島唄に込められた先人の想いを地域の方から学び，思いをはせながら学習発表会において歌声を披露した。集落に伝わる「八月踊り」を地域の方の指導を得ながら練習し，体育大会において地域の方とともに披露した。
6. 取組の様子 （練習状況，発表の場等）	 地域交流会  島唄学  八月踊り
7. 感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・ 地域の方に楽しんでもらえて，とてもうれしかった。 ・ 自分たちが文化を引き継いでいかなければならないと感じた。 【地域】 ・ 子どもたちが「シマ」の自然や歴史，生活にしっかり向き合っていることが伝わりました。 ・ いつか島を離れたとき，島唄を聞いて奄美を思い出すことでしょう。 ・ 「島口クイズ」を通して，自分たち大人も知らないことをよく調べてあるなと感心しました。 ・ 島唄は，自分たちで三味線をひいて唄っていて良かった。 ・ 生徒自身が自ら考えて取り組もうとする姿を目標として取り組んでいるところがとても良かった。